



- ① 配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願いいたします。希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書を注文扱いにて出荷させていただきます。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2019年11月下旬配本</b> 定価4400円(本体4000円+税) リュック・ポルトンスキー 著/片岡大右 訳 <b>批判について</b> 解放の社会学概論 ★ 本書はフランクフルト社会研究所におけるアドルノ講演を元に、社会学と社会学批判の関係への問いで始まる。社会学にとって、社会の批判を行うこと、すなわち規範的観点に立った判断を行うことは可能なのか。批判は社会学にとって、自己の科学としての存在が損なわれるような厄介な異物なのか。実践、制度、批判、そして「社会的現実」といった社会学の中心的諸概念を練り上げ、解放を目指す実践のありようを刷新する。【社会科学・哲学・思想】 ☆関連書:ポルトンスキー『胎児の条件』、ホネット『私たちのなかの私』ほか(小局刊)。	四六判上製・366頁 《叢書・ユニベルシタス 1105》 ISBN978-4-588-01105-4 C1330
-------	----	---	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2019年11月下旬配本</b> 定価4620円(本体4200円+税) ジャン・スタロバンスキー 著/浜名優美、井上櫻子 訳 <b>告発と誘惑</b> ジャン=ジャック・ルソー論 ★ 文芸批評の名著『透明と障害』と対をなす、著者最晩年に刊行されたルソー論。『社会契約論』や『エミール』『夢想』の作家が、墮落した文明社会を激しく告発し、原初の幸福へと誘惑することで多くの熱狂的読者を獲得した行程を、新しい雄弁とレトリックの創造に注目して鮮やかに描き出す。民主主義と近代文学の時代はいかにして開かれたのか? 大批評家の本領が発揮された好著。【文学・社会思想】 ☆関連書:スタロバンスキー『透明と障害』(みすず書房)、同『病のうちなる治療薬』ほか(小局刊)。	四六判上製・416頁 《叢書・ユニベルシタス 1106》 ISBN978-4-588-01106-1 C1310
-------	----	---	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2019年12月上旬配本</b> 定価5280円(本体4800円+税) アブラム・デ・スワーン 著/大平章 訳 <b>殺人区画</b> 大量殺戮の精神性(仮) ★ 二十世紀、非戦闘員に向けられた集団的暴力は戦争の三倍以上の人命を奪ったと言われる。ホロコーストをひとつの頂点として、ホロドモールやボル・ポト派による虐殺、ユーゴスラヴィア、ルワンダの虐殺にいたる無数の悲劇はいかなる人びとにより、いかにして実行されたのか。権力者の命令で、あるいは自ら進んで大量殺戮に従事した人びとの置かれた状況と、彼らを殺戮へと駆り立てる方法を社会学的に分析する。【社会学】 ☆関連書:ブラウニング『普通の人びと』(ちくま学芸文庫)、ミルグラム『服従の心理』(河出文庫)など。	四六判上製・472頁 《叢書・ユニベルシタス 1107》 ISBN978-4-588-01107-8 C1336
-------	----	---	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2019年11月18日配本</b> 定価5720円(本体5200円+税) ニコラス・ローズ 著/檜垣立哉 監訳/小倉拓也、佐古仁志、山崎吾郎 訳 <b>生そのものの政治学</b> 二十世紀の生物医学、権力、主体性 (新装版) 19世紀以来、国家は健康と衛生の名のもとに、人々の生死を管理する権力を手にしてきた。批判的学問や社会運動が問題視したこの優生学的思想はしかし、ゲノム学や生殖技術に基づくバイオ資本主義が発展した21世紀の現在、従来の批判には捉えきれない生の新しいかたちを出現させている。フーコーの問題を継承しつつも、病への希望となりうる現代の生政治のリアルな姿を描き出す、社会思想の画期作。【生命倫理・社会思想】 ☆関連書:サラ・S・リチャードソン『性そのもの』、D.ピルンバッハー『生命倫理学』(小局刊)。	四六判上製・554頁 《叢書・ユニベルシタス 1017》 ISBN978-4-588-14053-2 C1330
-------	----	---	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2019年11月18日配本</b> 定価2970円(本体2700円+税) ジャック・ランシエール 著/梶田裕、堀容子 訳 <b>無知な教師</b> 知性の解放について (新装版) 人間の平等という原則に目を閉ざし、知性の優劣という虚構によって人びとを序列化してきた近代教育。他者への侮蔑にもとづく「愚鈍化」の体制から身を引き剥がし、現実の不平等に立ち向かう知性の主体となるために必要な学びの原理とはどのようなものか? 十九世紀の「無知な教師」ジョゼフ・ジャコトがめざした革命的教育の教えをモデルに、今日の「侮蔑社会」の泥沼から解放された人間を待望する。【ポスト構造主義】 ☆関連書:ランシエール『解放された観客』『感性的なもののパルターージュ』(小局刊)。	四六判上製・254頁 《叢書・ユニベルシタス 959》 ISBN978-4-588-14052-5 C1310
-------	----	---	---

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2019年11月25日配本</b> 定価3190円(本体2900円+税) P.バーク 著/長谷川貴彦 訳 <b>文化史とは何か</b> (増補改訂版第2版) 文化史研究の第一人者が、英語圏だけでなく、ヨーロッパ大陸、アジア、南北アメリカなど世界的規模で展開する研究を整理した格好の入門書。増補版では視覚文化論や地理学、考古学など隣接分野との接点を論じた章が追加され、文献リストや註記も近年刊行された文献が加わり、内容がいちだんと充実した。第2版では初版の訳文を全面的に見直し、さらに読みやすいものとなっている。【歴史学・文化史】 ☆関連書:バーク『文化のハイブリディティ』、ローズ『ジェンダー史とは何か』(小局刊)。	四六判上製・256頁 ISBN978-4-588-35009-2 C3020
-------	----	---	---

ご担当者様 氏名: [ ] 担当ジャンル: [ ] TEL: [ ] E-mail: [ ]

\* 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。  
 \* 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。  
 \* 今後、新刊内容のデータ等をeメールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。